

MBOの実施および応募の推奨に関するお知らせ

平成28年10月14日(金)

株式会社アデランス
お問い合わせ先

コード番号:8170 東証 第一部
グローバルIR部長 泉本正明
03-3350-3268

目次

1. MBOとは	P. 3
2. MBOの概要	P. 5
3. MBO実施の背景	P. 8
4. MBOへの賛同と応募の推奨	P.12
5. 公開買付者(アドヒアランス株式会社)の概要	P.17
6. MBOのフレームワーク	P.20
7. 応募手続きに関するお問い合わせ	P.25

1. MBOとは

MBO: Management Buyout

- 一般に、買収対象会社の経営陣の全部または一部が資金を出資して、買収対象会社の事業の継続を前提として買収対象会社の株式を取得する取引のこと
- 本取引後、公開買付けおよびその後の一連の手続きを経て、当社の株式が上場廃止となる予定

2. MBOの概要

MBOの概要

公開買付者

- ・ アドヒアレンス株式会社
 - ✓ 当社の普通株式、新株予約権及び新株予約権付社債を取得及び所有することを主たる目的として、平成28年9月26日に設立された株式会社
 - ✓ 現在、インテグラル株式会社がその株式の100%を所有

買付価格

- ・ 普通株式: 1株につき620円
<プレミアム>
公表日(10月14日)の前営業日(10月13日)の終値483円に対して28.36%
過去1ヶ月間の終値の単純平均値461円に対して34.49%
過去3ヶ月間の終値の単純平均値455円に対して36.26%
過去6ヶ月間の終値の単純平均値495円に対して25.25%
* 期間は公表日(10月14日)の前営業日(10月13日) を基準日とする
- ・ 新株予約権 :
第4回新株予約権1個あたり金1円
第5回新株予約権1個あたり金1円
第6回新株予約権1個あたり金1円
第7回新株予約権1個あたり金1円
第8回新株予約権1個あたり金10,100円
- ・ 新株予約権付社債 :
額面500万円につき金1,453,280円

買付予定数の下限

- ・ 19,532,800株(この数に満たない場合には、買付け等を行わない)

MBOのスケジュール

平成28年10月14日

MBO実施の公表

平成28年10月17日

公開買付の開始

公開買付期間
(30営業日)

平成28年11月29日

公開買付の終了

平成28年11月30日

公開買付結果の公表

平成28年12月6日

公開買付の決済開始日

スクイーズアウト手続

公開買付けの終了後、スクイーズアウトのために株式併合等を実施する予定(但し、具体的な日程等は未定)

合併

公開買付者を消滅会社、当社を存続会社とする合併を行う予定(但し、具体的な日程等は未定)

3. MBO実施の背景

経営理念

私たちアデランスグループは、
**「毛髪関連事業を通じてより多くの人々に夢と感動を提供し
 笑顔と心豊かな暮らしに貢献する」**
 という理念の下、総合毛髪関連事業を展開

経営ビジョン・基本方針

経営ビジョン：グッドカンパニーの実現

基本方針：三方よし経営

- CS(お客様の満足)
- ES(社員の遣り甲斐)
- CSR(企業の社会的責任、社会からの信頼)

企業価値の向上に努め、
 グローバル市場でのシェア拡大と
 安定利益の確保を目指す

当社の現状及び課題

現状

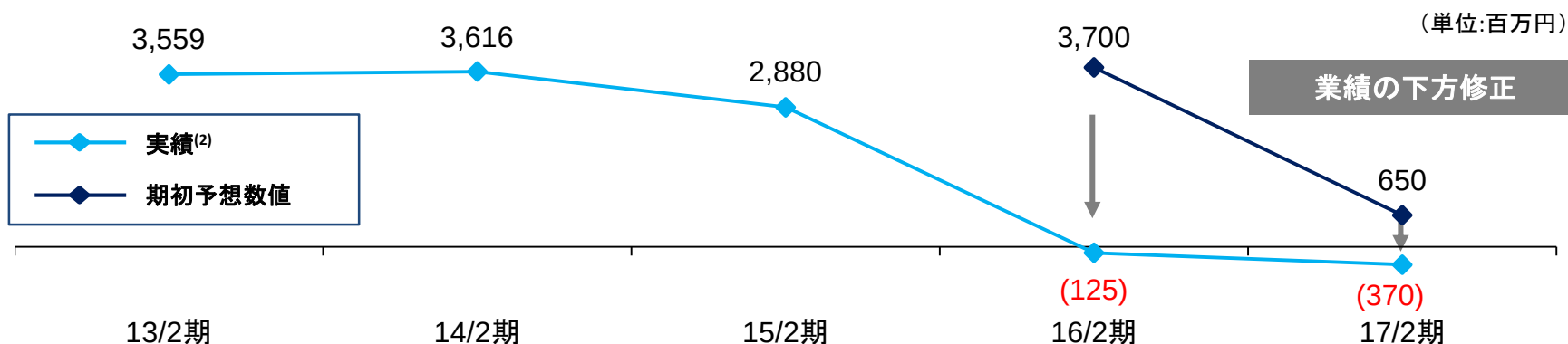
企業体力の弱体化

- 平成21年以降の希望退職及び研究開発拠点の閉鎖による競合他社への人材流出
- 社名変更による混乱・顧客流出、顧客減少にもかかわらず行われた短期的な売上高及び利益の追求等の経営施策による混乱

競争環境の激化

- 成熟した国内男性市場において、ウィッグ事業は、AGA治療薬や発毛・育毛剤などの隣接市場との競争が激化
- 国内女性市場では競合他社や異業種が低価格帯のウィッグに参入したことにより、新規顧客の獲得が鈍化
- 海外事業ではFUE⁽¹⁾へのシフトや女性のウィッグに対する需要が高まる等、新しい顧客ニーズに応えるための新商品や人材獲得が必要に

営業利益の推移



(1) メスを使わない植毛法
 (2) 17/2期は修正予想数値

MBOが選択された理由

課題に対する施策

- 差別化のためのアフターサービス拠点の新規拡充
- 低価格ウィッグ販売
- 植毛やAGA⁽¹⁾治療薬といった医療市場への新規進出による先行投資
- 海外事業における未進出国への展開加速による先行投資

先行投資による、収益悪化、株価停滞リスク

- 上記は、直ちに当社の利益に貢献せず相当の時間と人材獲得や新規出店を含めた各種先行投資が必要
- 短期的には当社の利益水準やキャッシュ・フローの悪化をもたらすリスクがあり、当社の事業も楽観視できない先行き不透明な状態が続く
- 上場を維持したままこれらの施策を実施すれば資本市場からの十分な評価を得ることができず、当社株価に悪影響を及ぼす等の不利益を当社の株主の皆様にご与える可能性

MBO及び非上場化により、短期的な業績・株価の停滞リスクが株主の皆様にご及ぶことを回避

中長期的な視座に立ち、事業構造の改革及び経営基盤の強化を推進することが不可欠

(1) 男性型脱毛症 (Androgenetic Alopecia)

4. MBOへの賛同と応募の推奨

MBOへの賛同と応募の推奨

平成28年10月14日開催の当社取締役会において、本公開買付けに賛同の意見を表明し、かつ、当社の株主の皆様に対して本公開買付けへの応募を推奨することを決議

応募の推奨の理由

- 理由1. 株主の皆様が短期的な当社の利益水準の低下等による経済的な不利益を被るリスクを回避するための最良の方策であるため
- 理由2. 当社の中長期的な事業構造の改革および経営基盤の強化を推進するにあたり、インテグラルは当社の企業価値を維持・向上させる上で有益なパートナーであるため
- 理由3. 本公開買付価格及びその他の諸条件は当社の株主の皆様にとって妥当であり、合理的な価格による当社株式の売却機会を提供するものであるため

新株予約権・新株予約権付社債について

本新株予約権に係る新株予約権者及び本新株予約権付社債に係る社債権者の皆様の判断に委ねることを決議

公開買付けの公正性担保措置

①当社プロジェクトチームによる検討・協議・交渉等

- 本取引に関するプロジェクトチームを設置し、本公開買付けを含む本取引の是非等につき検討及び協議を行い、買付者との間で、複数回にわたって協議、交渉

②当社における独立した第三者算定機関からの株式価値算定書の取得

- フィナンシャル・アドバイザー及び第三者算定機関として株式会社プルータス・コンサルティングからの株式価値算定書の取得

③当社における独立した法律事務所からの助言

- 独立したリーガル・アドバイザーである野村綜合法律事務所から、本公開買付けを含む本取引に関する当社取締役会の意思決定の方法、過程等について、必要な法的助言を受けたもの

公開買付けの公正性担保措置(続き)

④当社における独立委員会の設置

- 当社、公開買付者及びインテグラルから独立性を有する社外監査役1名および外部有識者(弁護士、公認会計士)2名の3名で構成される独立委員会を設置
 - 以下の概要の答申を受領
- 1 本取引は当社の更なる収益基盤強化と企業価値向上を実現するものであって、その目的は合理的なもの
 - 2 本取引の条件は妥当
 - 3 本取引の手続は透明・公正であり、当社の株主の利益に配慮されている
 - 4 したがって、本取引は当社の少数株主にとって不利益なものではないと認められる

⑤当社における利害関係を有しない取締役全員の承認および利害関係を有しない監査役全員の異議がない旨の意見

- 審議及び決議に参加した全ての取締役(当社の代表取締役会長兼社長である根本氏及び当社の代表取締役副社長である津村氏を除く取締役5名)の全員一致により、本公開買付けに賛同の意見を表明し、かつ、当社の株主の皆様に対して本公開買付けへの応募を推奨することを決議
- 社外監査役2名を含む全ての監査役が審議に参加し、その全ての監査役が、上記決議に異議がない旨の意見を述べている

公開買付けの公正性担保措置(続き)

⑥本公開買付けの公正性を担保する客観的状況の確保

- 株主の皆様の適切な判断機会を確保し、また、公開買付者以外の者の対抗的買付等を行う機会を確保するため、公開買付期間として法令に定められた最短期間に比して長期間の30営業日を設定

⑦その他

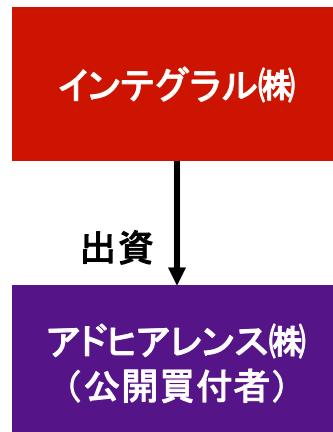
- 本公開買付価格は、本公開買付け又は本取引について少数株主と異なる特別の利害関係を有しない大株主であるフランクリン・テンプレートン・インスティテューショナル・エルエルシー（以下「FT」といいます。）の賛同を得たものであり、このような特別の利害関係を有しない大株主の意向の確認を通じて、少数株主の皆様の利益に十分配慮

5. 公開買付者(アドヒアレンス株式会社) の概要

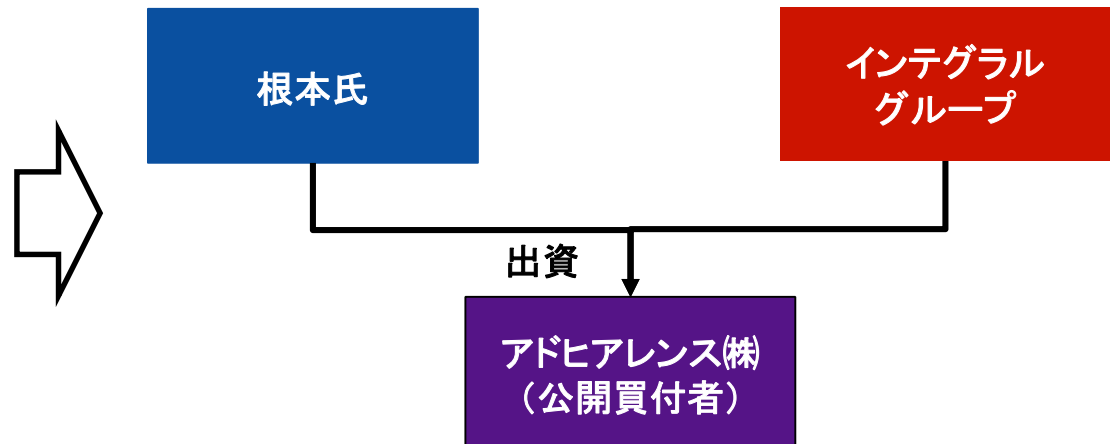
アドヒアレンス株式会社の概要

- 当社の普通株式、本新株予約権及び本新株予約権付社債を取得及び所有することを主たる目的として、平成28年9月26日に設立された株式会社
- 現在、インテグラル株式会社がその株式の100%を所有
- 根本氏ならびにインテグラル2号投資事業有限責任組合およびIntegral Fund II (A) L.P. (以下「インテグラルグループ」といいます。)は、本公開買付けの成立後に、公開買付者に出資する予定
- なお、根本氏及び津村氏は、合併後の当社に対する根本氏及び津村氏の出資比率の合計が約50.1%となるよう、それぞれ公開買付者又は当社に対する出資を行うことを予定

公開買付け公表時の構成



公開買付け決済後の構成

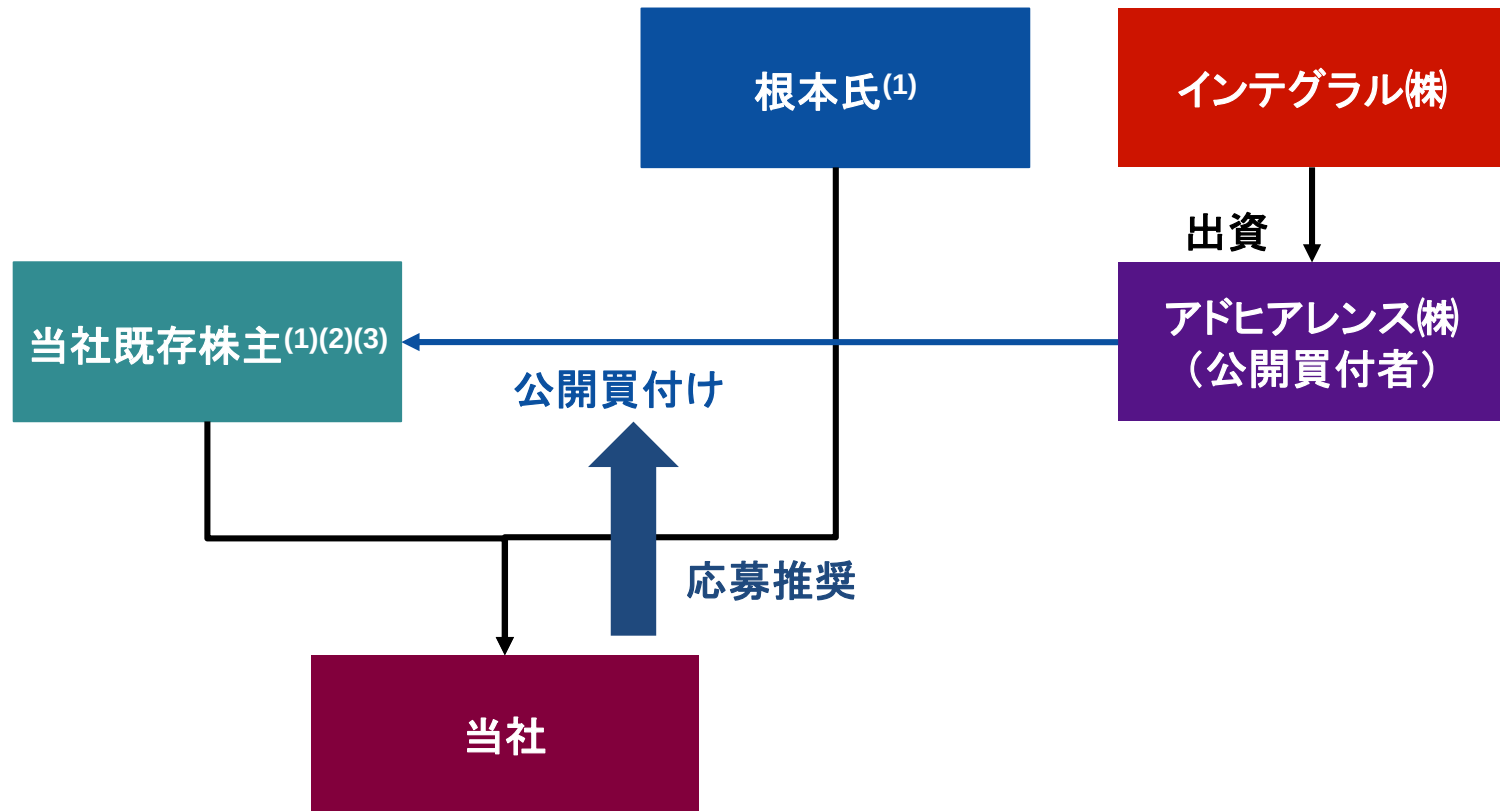


インテグラルの概要

- インテグラルは、「Trusted Investor＝信頼出来る資本家」を企業理念とし、「ハートのある信頼関係を事業全ての基礎とします」、「長期的な企業価値の向上を愚直に追求します」、「最高の英知を結集し、『新しい何か』の創造に挑戦します」の3つの行動規範を掲げて、投資先企業の経営陣との信頼関係を礎にし、長期的視野に立ってエクイティ投資を行う投資会社
- これまでキュービーネット株式会社、スカイマーク株式会社等、計13件の投資実績を有す
- 投資先企業の運営に関しては、既存の運営体制を尊重することを基本におきつつ、必要に応じてインテグラルのメンバーを派遣し様々な経営課題についての経営支援を行う体制をとり、投資先企業の皆様と『同じ目線・時間軸』をもって共に歩み、企業価値の最大化に向けて経営・財務の両面での最適な経営支援を実施
- コスト削減やオペレーションの効率化のみによる短期的な利益の追求ではなく、長期的な視野に立った投資やリソース配分を行い、永続的な事業の成長・発展を目指す
- 長年M&A業務及び会社経営に従事し、それらの高度な専門的知識を有する者が集まった国内独立系のファンドとして、日本企業のマネジメント層の特性を十分に理解・尊重しながら、投資先企業の企業価値向上を最優先した成長戦略促進の支援に取り組む

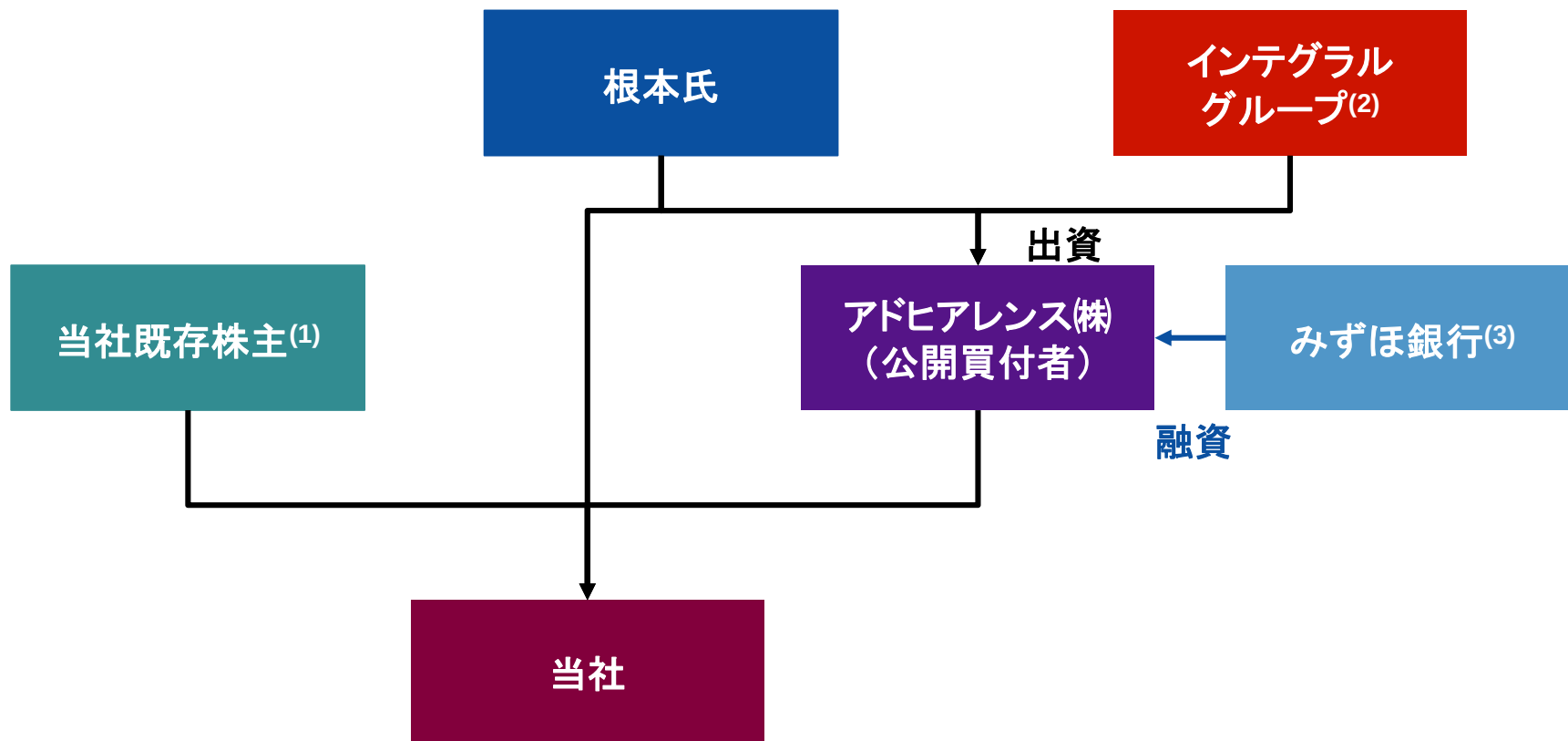
6. MBO のフレームワーク

公開買付け公表時



- (1) インテグラルグループは、根本氏及び津村氏とMBO覚書を締結しており、根本氏が所有する当社株式等のうち役員持株会を通じて間接的に所有する当社株式を除く全ての当社株式については本公開買付けに応募しない旨、根本氏が所有する第5回から第7回新株予約権については本公開買付けに応募する旨、並びに根本氏が所有する第8回新株予約権については本公開買付けが成立した場合速やかに全て無償で放棄する旨の同意を根本氏から、また、津村氏が所有する当社株券等のうち役員持株会を通じて間接的に所有する当社株式を除く全ての当社株式並びに第4回から第8回新株予約権について、本公開買付けに応募する旨の同意を津村氏から、それぞれ取得
- (2) 根本氏及び津村氏は、当社の実質的な筆頭株主であるFTとの間で、FTが所有する全ての当社株式について、本公開買付けに応募する旨の同意を取得
- (3) 本新株予約権及び本新株予約権付社債の保有者を含む

公開買付け決済後



(1) 本公開買付けに応募されなかった株主が該当

(2) 本公開買付けの決済開始日の前々営業日前までに公開買付者に対して出資をする予定

(3) 買付け等に要する資金に充当するための借入れとして、230億円を限度として公開買付者に対し融資を行う予定

公開買付け後の手続き

公開買付けが成立した場合

(応募株券等の数の合計が買付予定数の下限の19,532,800株以上となった場合)



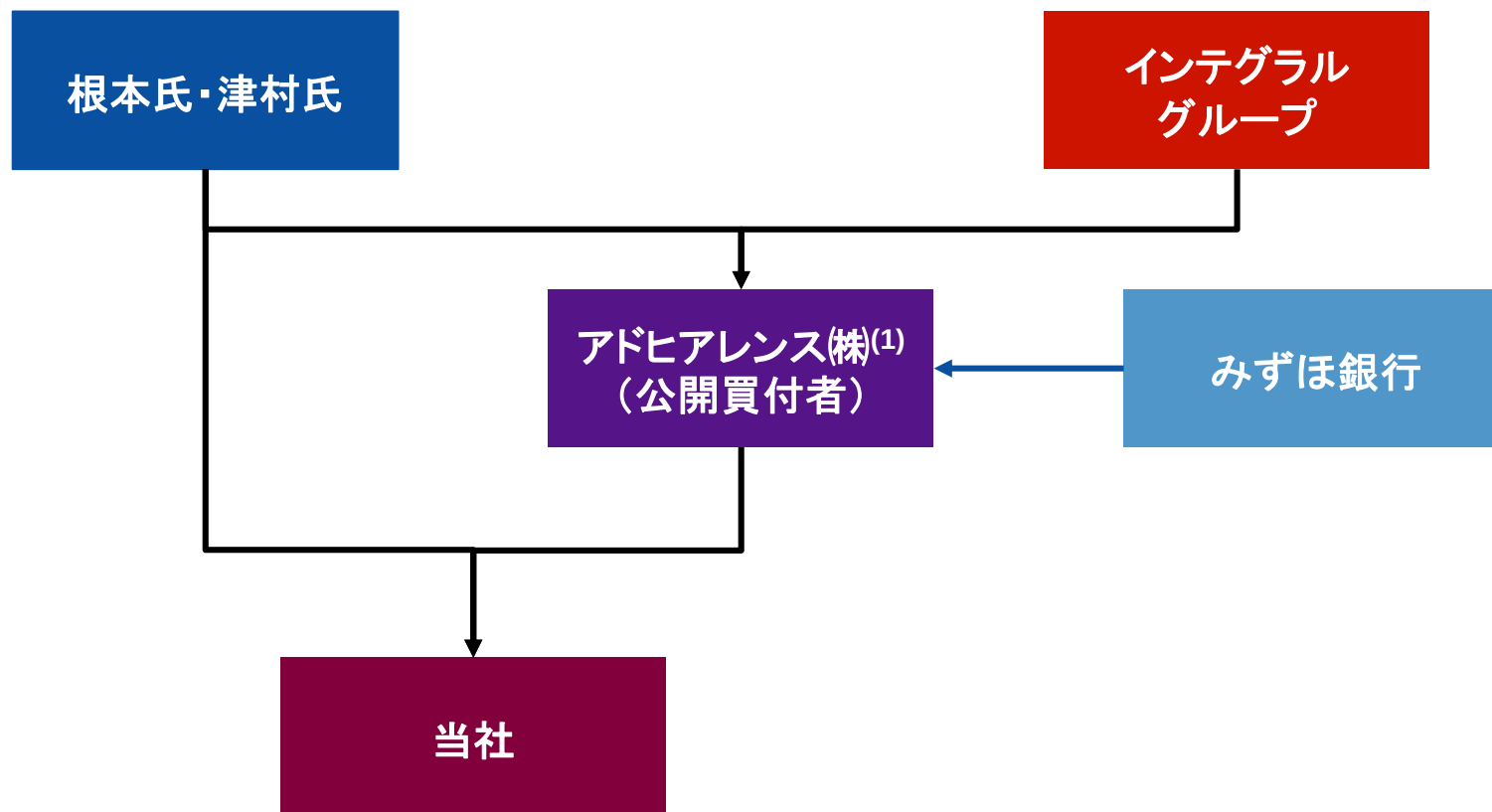
株式併合等を利用したスクイーズアウトを予定

スクイーズアウト(二段階買収)の手続きの概要⁽¹⁾

1. 公開買付けの成立後、当社株式の併合を行うこと及び本株式併合の効力発生を条件として単元株式数の定めを廃止する旨の定款の一部変更を行うことを付議議案に含む本臨時株主総会を開催
2. 本臨時株主総会において本株式併合の議案について承認を得た場合には、本株式併合がその効力を生ずる日において、当社の株主は本臨時株主総会において承認を得た本株式併合の割合に応じた数の当社株式を所有することとなる
3. 本株式併合をすることにより株式の数に1株に満たない端数が生じるときは、株主の皆様に対して、当該端数の合計数(合計した数に1株に満たない端数がある場合には、当該端数は切捨てられる)に相当する当社株式を当社又は公開買付者に売却すること等によって得られる金銭が交付される
4. 当該売却の結果、公開買付けに応募されなかった当社の株主の皆様には、当該売却される金銭の額が、公開買付け価格に当該株主の皆様が所有していた当社株式の数を乗じた価格と同一となるよう算定した上で、裁判所に対して任意売却許可の申立てが行われる予定
5. 本臨時株主総会を開催する場合、平成29年1月を目途に開催される予定(その具体的な手続及び実施時期等については、決定次第、当社が速やかに公表する予定)

(1) 関係法令についての当局の解釈等の状況、本公開買付け後の公開買付者及び根本氏の株券等所有割合、並びに公開買付者及び根本氏以外の当社の株主、新株予約権者又は新株予約権付社債権者の皆様の当社株券等の所有状況等によっては、全部取得条項付種類株式を用いる方法その他上記と概ね同等の効果を有するその他の方法に変更する可能性あり

スクイーズアウト完了後(予定)



- (1) スクイーズ・アウト完了後に、公開買付者を消滅会社、当社を存続会社とする合併を実施予定だが、具体的な日程等は未定。根本氏及び津村氏は、本MBO覚書に基づき、本合併後の当社に対する出資比率の合計が約50.1%となるよう、それぞれ公開買付者又は当社に対する出資を行うことを予定

7. 応募手続きに関するお問い合わせ先

応募手続きに関するお問い合わせ先

応募手続きおよび口座開設に関するお手続き

公開買付代理人であるみずほ証券株式会社(以下「みずほ証券」といいます。)の各支店またはプラネットブースにおいて、所定の「公開買付応募申込書」に所定事項を記入の上、公開買付期間末日(平成28年11月29日)の15時までに応募いただくことになります。

本公開買付けへの応募手続きおよびみずほ証券での口座開設に関するお手続きは、みずほ証券の各支店またはプラネットブースにてお申し込みください。

公開買付けへの応募方法に関するお問い合わせ先

最寄りのみずほ証券の各支店またはプラネットブースがご不明な場合や、応募方法に関するご質問は、みずほ証券のホームページをご覧ください。みずほ証券のコールセンターにお問い合わせください。

みずほ証券ホームページ <http://www.mizuho-sc.com/ap/product/stock/tob/index.html>

みずほ証券コールセンター TEL 0120-324-390(営業時間: 平日8時30分～21時、土日・祝日9時～17時)

公開買付けについては、みずほ証券以外の証券会社を経由した応募の受け付けは行われません。みずほ証券にお取引口座をお持ちでない場合、応募に際して口座開設が必要となりますのでご注意ください。

手続きの詳細については、平成28年8月末時点の株主名簿に基づき株主の皆様宛に送付される応募手続きのご案内をご参照ください。